

会議名	第3回厚木市観光振興推進委員会
日時	令和6年3月5日（火）10時から11時まで
場所	あつぎ市民交流プラザ6階 ルーム604
出席者	出席者 8人 厚木市観光振興推進委員会委員5人 事務局3人（観光振興課長、観光振興課係長、観光振興課副主幹）
<p>会議の経過は次のとおり。</p> <p>1 開会 観光振興課長 挨拶 厚木市観光振興推進委員長</p> <p>2 案件</p> <p>(1) 令和5年度事業の実施状況について 議事進行：委員長 説明：事務局 資料1に基づき説明。 【意見等】 なし</p> <p>(2) 令和6年度事業について 議事進行：委員長 説明：事務局 資料2に基づき説明。 【意見等】 なし</p> <p>(3) 観光振興に係る意見交換について</p> <p>委員： 鮎まつり当日は本厚木駅で13万人、隣の海老名駅では10万人の乗降客数があった。 更なる協力を行いたいところではあったが、3年ぶりにフルスペックの開催とあって、入社してから3年目の職員は鮎まつりの対応をしたことがなく、今年度は、いろいろと勉強させていただいた。 来年度も協力していきたいと考えている。</p> <p>委員長： インバウンドについて、どこの国から訪日している人が多いか傾向等はでているか。</p> <p>事務局： ホテルや旅館からの話だと、観光で来ている人は少ない。 ビジネスで来ている人が多い。 市内ではベトナム人が多く、ベトナム料理のお店もいくつかできている。 外国からいきなり来てもらうには、ハードルが高い。 まずは住んでいる外国人の方から、情報を発信してもらう。 我々も海外に行くときは、現地に住んでいるかたの情報が非常に役に立つと思うので、そういうアプローチも有効であると考えている。</p> <p>委員長： 2019年10月を上回る勢いで海外から訪日しており、今年度は完全な回復期に入っていくと思われる。 全体的な傾向として、旅行客などの回復はアジアが一番遅れている。</p>	

全体は 90 パーセント回復しているが、アジアは 60 パーセントくらい。
理由として、中国の回復が遅れているといわれている。

しかし、円安ということもあり、ヨーロッパやアメリカの観光客が伸びている。
2019 年以前は中国からの観光客が多かったが、おそらくいま日本に来ている外国人は、2019 年以前に訪日していなかったであろう、新しい観光客である。

このような人たちをどのようにして取り入れ込んでいくことが重要である。

事務局： オーバーツーリズムの問題で、箱根はバスの待ち時間が 2 時間になることもあ
ると聞く。

待ち時間を 2 次観光として狙い厚木に来てもらうことも考えられる。

委員長： 箱根からの 2 次観光の場合は、温泉だと難しい感じもする。

大山など箱根にプラスされるものを用意する必要がある。

事務局： 厚木は立地的に交通便が良く、平塚にアウトレットもできている。

そういうところと上手く連携できれば、飛行機の待ち時間に使える可能性もある
とラウンドオペレーターからも評価をいただいている。

委員長： インバウンドの対応で外国人向けのパンフレットを作成すると伺った。

翻訳したものを一度見ることは可能か。

英語圏の人にとっては日本語をそのまま翻訳すると読みにくいものもある。

読みやすくしっかりしたものであれば安心して来てもらうこともできると思
う。

事務局： 言語は生き物であり、「温泉」や「かわいい」という言葉もそのまま海外で認知
されるようになってきている。

ぜひ、アドバイスをいただきたい。

委員長： 2 年前にマドリードの一等地に「かわいいレストラン」というお店もできてい
た。

ヨーロッパでも知名度があがってきていると思う。

完成されたパンフレットは国連世界観光機関に送付すれば委員の方に認知して
もらえる与会などで取り上げてもらえる可能性もある。

事務局： 白山の道標については、横浜 DeNA ベイスターズの X に掲載されて、74 万表
示され非常に反響があった。

今もファンの方が道標を見に訪れており、新しい観光資源となっている。

そういった方をどういう形で地域の経済活動に結び付けるかが課題である。

また、キャンプ場誘致については、飯山で造成工事が行われており、小鮎川の
近くで立地も良い。

ゴールデンウィーク明けにはオープンできる予定である。

次回は七沢にも誘致できるようにしたい。

委員長： 食ブランド推進事業のジェラートは、駅前で販売することも考えているのか。

事務局： 事業者次第である。

委員長： 黄金井酒造で作られているお酒を使用したジェラートで隣にある食の市とコラ
ボして作られたものである。

事務局： シンガポールで開催された、にっぽんの宝物グランプリで審査員特別賞を受賞

したもので、今回認定させてもらった。

貴醸酒を練り込んだものである。

Princeというチーズは牧歌という事業者で、一人で搾乳から製造まで行っているので、流通量が非常に少ない。

いままで食べたチーズとは違うタイプのチーズである。

委員長： あつぎ温泉郷のPRについて詳しく聞きたい。

事務局： 資料1の6に掲載されている、あつぎ温泉郷おためしキャンペーンの第一弾については、宿泊に対して8,000円の割引をするもの。

第二弾は日帰り温泉に対して1000円の割引を行うものである。

抽選で当選した方にお渡ししており、宿泊の当選倍率は14倍、日帰りは3倍くらいである。

まだ、利用期間中ではあるが、期間が短かったため利用率が少ないとの情報が入っている。

日帰り温泉の割引については下北沢線路外でのイベント後に申し込みを開始したところである。

委員長： 市内で足湯のスポットはあるのか。

事務局： キャンプ場誘致の実績が2件あるが、1件は飯山のキャンプ場で、もう1件が七沢荘に足湯を設置する事業である。

委員長： 森の里郵便局の奥に老人ホームがあり、そこに足湯がある。

知られていない足湯スポットが市内であるのではないか。

事務局： 温泉入浴だと着替えなど事前の準備が必要で敷居が高い。

足湯は気軽に温泉体験ができる。

キャンプ場誘致の補助金は、足湯も補助対象となっている。

来年度も誘致できるようにしたい。

3 その他

次回の会議は6月に予定している。

4 閉 会